

終戦とともに連合軍による国内統治が行われ、旧日本軍の武装解除が各地で進められた。さらに外地に移住していた人びとが引き揚げ、海外に派遣されていた軍人の復員が始まり、遅れてシベリアに抑留されていた旧関東軍などの兵士たちが帰還した。故国へたどり着いた彼らの安堵の表情や、家族との再会風景があちこちで見られた。



復員兵の帰国

朝鮮半島から多くの復員兵を乗せて博多に着いた日本の旧海軍艦艇。岸壁にはそれを出迎える人びと。

- 撮影地 福岡 博多港
- 昭和20年10月18日

シベリアからの帰還者

昭和20年以来ソ連（現ロシア）に抑留されていた旧日本兵が復員し、東京駅で家族の出迎えをうけた。帰還者の名前を記した0120幟が見える。

- 撮影地 東京駅
- 昭和24年7月11日



食事をもらう復員兵

朝鮮半島から帰国した復員兵に炊き出しをする市民。

- 撮影地 福岡 博多港
- 昭和20年10月14日